

ボーイスカウト西尾第6団

5月ビーバー隊集会 「まなんでみよう」(社会③「皆のために働く人たちのことがわかる」)

日時 平成30年 5月20日(日) 天候 晴れ

場所 豊田市防災学習センター → 永井さん家の畑

内容 台風・地震・火災にあったときに身を守るための体験をして学びました。
その後、永井さん家の畑に移動して、草むしりなど手入れをしました。

活動の様子



今回のテーマは「まなんでみよう」。
施設で『学ぶ』ことがだけが重要なのではなく、
お話を聞いたり、ルールを守ったり、
公共の施設を利用する際にあるべき姿を学ぶのも
大事な体験のひとつです。



まずは、暴風体験。風速 30m/s の暴風を浴びます。
途中からは、雨粒に見立てたピンポンボールが飛んでくる！
前を向くのができなくなります。

怖いのは、風そのものではなく、この風で飛んでくる看板などの
「もの」がぶつかること。



続いては、起震装置で地震体験。震度6を体験します。
南海トラフの大地震発生時の西尾市内の想定震度は5強～7。

怖いのは揺れることではなく、“いきなり”揺れることや、その
ときにつかまるものがないことと、物が倒れてくること。



最後は、火事が起きたビルからの避難訓練。

煙が充満して、視界が悪い部屋の中で、誘導灯と手探りを頼りに、出口を探します。

怖いのは「よく見えない」ことではなく、その中でパニックになってしまうこと。あわてて走り出したり、ドアの向こうが燃えていないか確認せずにドアを開けてしまったり、大きく息を吸い込んで、喉をやけどしてしまったり。

いろいろな体験をしました。「体験」ですから、ゴーグルがあるとか手すりがあるとか、100%の安全が担保された中で行うものです。大切なことは、この「安全が担保された体験」を通じて感じることから、『本当に災害が起きたときにはどうなるか?』を想像して備えることです。

ご家庭でいろんな話をしていただければ幸いです。



これまで体験参加していた、松川さゆみちゃん・あまねちゃん姉妹が、正式に仲間に加わりました。

おめでとう！いっしょに仲良く頑張りましょー！

まとめ

きょうは、「怖さ」を感じてしまった子もいると思います。ごめんなさい。しかし、災害とは本当に怖いものです。きょうは数十秒だけの体験でしたが、本当に災害が起きると、数時間・数日間も「日常」とはかけ離れた日々が続くこととなります。『いざ』というときに何ができるか。自分と家族を守ることができるのか。いつ、『その時』が来ても良いように心の準備をしておくこと。それも、ボーイスカウトのモットーである「そなえよつねに」につながるのだと思います。

(ビーバー隊長 澤 朋宏) (配布したミッションカード：健康②「食べ物の好き嫌いをなくすようにする」)